



資源を活用した電源地域の振興

福島学院大学教授
下平尾 勲



地域資源には、製造業、商業、農林水産業、観光資源、サービス業、さらに人脈、歴史・文化等が広く包含される。五年間で一〇〇〇件の地域資源を生かした新事業を創出するのだという数値目標が掲げられている。

地元資源を掘り起こしていくためには、資源そのものに技術、マーケティング、人脈、ブランドなどを付加し、新たな商品を開発し、新産地を形成し、サービスの開発と提供を創出していくこと

が国において直面する国際競争や社会福祉費の増加などの諸問題を経済成長の中で解決していくというのが経済成長戦略である。その大綱の基本は、①生産性の向上、②地域・中小企業の活性化、③改革による需要創出、④制度の整備にあるとされた。その重要な一つの柱である中小企業の活性化のための「地域資源活用促進法」が衆参両院を通過した。

地域の「強み」となる地域資源を地域主導で掘り起こす取り組みを支援する法律である。

地域資源には、製造業、商業、農林水産業、観光資源、サービス業、さらに人脈、歴史・文化等が広く包含される。五年間で一〇〇〇件の地域資源を生かした新事業を創出するのだという数値目標が掲げられている。

地元資源を掘り起こしていくためには、資源そのものに技術、マーケティング、人脈、ブランドなどを付加し、新たな商品を開発し、新産地を形成し、サービスの開発と提供を創出していくこと

になるが、意欲のある中小企業の事業活動を「地域資源活用促進法」は支援しようというものである。

①基本方針は経済産業大臣が策定し、②目標と手段、いかなる資源を重要戦略とするかという基本構想は県知事が策定する。③どのような事業をいつまでに誰がどのように実施するかは地元中小企業者が作成する。中小企業者は事業計画の認定を受けることによって、中小企業の振興上難点となっていた①市場動向の把握、②商品企画、開発のための外部人材の確保、③大都市市場開拓のための情報の入手と発信、④資金調達等の面で支援を受けることができる。

電源地域においては、地域内資源を見直すとともにその中で電源立地自体も有力な資源だとする事業計画が必要であろう。「地域資源活用促進法」は、地域の自立と雇用拡大という政策を掲げる地域にとっては、重要なチャンスである。そのためには人材発掘と組織の形成が何よりも重要であろう。

2 人

資源を活用した電源地域の振興
下平尾 勲

3 Pick Up !

次世代感覚の導入で
会津漆器を活性化
福島県 会津若松市

8 ふるさと応援団

すながわスイートロード協議会
北海道 砂川市

10 いきいき電源地域

川内・甕とれたて市
鹿児島県 薩摩川内市

ビッグひな祭り
徳島県 勝浦町

12 センター掲示板

- ・平成19年度 研修のご案内
- ・「夏休み親子体験学習会 2007 in 東京」参加募集のお知らせ
- ・平成19年度下期 電源過疎地域等企業立地促進事業費補助金について
- ・「電気ふるさと 新じまん市」を千葉・幕張メッセで開催しました
- ・「電気ふるさと じまん市 産品ネットショップ」リニューアルのお知らせ
- ・Vol.7 読者の声から
- ・人事往来
- ・読者プレゼント

16 電気のふるさと産品自慢

くずどーふ地酒
滋賀県 木之本町

今号の表紙

下郷水力発電所(電源開発)

総出力: 100万 kW
営業運転開始: 昭和63年4月(1.2号機)
: 平成3年6月(3.4号機)